

都市再生整備計画 フォローアップ報告書  
荻野川周辺地区

平成28年5月

神奈川県厚木市

1. 数値目標の達成状況の確認(確定値)

様式4 - 都市再生整備計画に記載した目標を定量化する指標の確定

指標	単位	従前値	目標値	事後評価				フォローアップによる確定値	計測時期	フォローアップ時点での達成度	確定値が評価値と比較して大きな差異がある場合や改善が見られない場合等		総合所見		
				評価値	見込み・確定の別	目標達成度	1年以内の達成見込み				理由	改善策の方向性			
指標1	緑道通行者数	人/日	141	155	174	確定			あり		254	H25年3月		改善策はそのまま改善策に補強が必要新たに改善策をたてる	道路整備と公園整備が進んだことにより、散策路として利用する人数が順調に増加している。
						見込み									
指標2	生活環境に対する意識	%	22	24	25	確定			あり		20	H26年1月		改善策はそのまま改善策に補強が必要新たに改善策をたてる	道路整備や公園整備から年数が経過し、「2年前と比較して良くなった」と感じる人の割合が減ったものと考えられるが、市全体の割合よりも良くなったと感じている割合が多いことから、整備の効果は表れていると判断している。
						見込み									
指標3						確定			あり			H 年月		改善策はそのまま改善策に補強が必要新たに改善策をたてる	
						見込み									
指標4						確定			あり			H 年月		改善策はそのまま改善策に補強が必要新たに改善策をたてる	
						見込み									
指標5						確定			あり			H 年月		改善策はそのまま改善策に補強が必要新たに改善策をたてる	
						見込み									

事後評価シート 様式2-1及び添付様式2- から転記 全ての指標について記入

フォローアップの必要のある指標について記入

全ての指標について記入

様式4 - その他の数値指標の確定

指標	単位	従前値	目標値	事後評価				フォローアップによる確定値	計測時期	フォローアップ時点での達成度	確定値が評価値と比較して大きな差異がある場合や改善が見られない場合等		総合所見		
				評価値	見込み・確定の別	達成度	1年以内の達成見込み				理由	改善策の方向性			
その他の数値指標1	みはる野入口交差点の渋滞解消	m	420	/	50	確定		/	/	/	/	H 年月		改善策はそのまま改善策に補強が必要新たに改善策をたてる	
						見込み									
その他の数値指標2	荻野公民館の利用者数	人	27240	/	45837	確定		/	/	/	/	H 年月		改善策はそのまま改善策に補強が必要新たに改善策をたてる	
						見込み									
その他の数値指標3			/	/	/	確定		/	/	/	/	H 年月		改善策はそのまま改善策に補強が必要新たに改善策をたてる	
						見込み									

事後評価シート 様式2-1及び添付様式2- から転記 全ての指標について記入

フォローアップの必要のある指標について記入

全ての指標について記入

## 2. 今後のまちづくり方策の検証

様式4 - 「今後のまちづくり方策」の進捗状況

事後評価シート 添付様式5 - に記載した今後のまちづくり方策(事項)		実施した具体的な内容	実施した結果	今後の課題 その他特記事項
・成果を持続させるために 行う方策	身近に親しめる自然環境の場の更なる活用	・健康・交流のみちにおける「道路里親制度」を活用した地域住民による維持管理と行政の後方支援、地域住民への制度の周知	広町公園、道路、公民館の整備等により生活環境に対する満足度が向上した。	本計画以外の健康・交流のみちの整備や水辺ふれあい事業を進め、地域資源を活用した豊かな自然環境に触れ合える場の更なる充実を図る。
	コミュニティ活動拠点施設の更なる活用	・自然環境活動により発展したコミュニティ活動を基にした、他の地域活動への展開	自然環境の保護を始めとする多種多様なサークル活動や地域活動が活発に行われ、広町公園や荻野公民館の利用者が大幅に増加した。	子どもから高齢者まで幅広い世代が相互に交流できる地域コミュニティ活動の拠点として更なる利活用を図る。
	幅広い世代が安心して暮らせるまちづくりの推進	・道路構造物並びに道路安全施設の維持管理 ・地域住民による道路や公園の維持管理と行政の後方支援、地域住民への制度の周知	市民協働による美化活動の実施により、環境美化への意識高揚や道路・公園への愛護意識、地域コミュニティの活性化が図られた。	子どもから高齢者まで誰もが安心して生活できる道路の維持管理を進め、「機能優先」のみちづくりから、一人一人の暮らしを大事にする「ひと優先」のみちづくりを進める。
改善策 ・まちづくりの目標を達成するための改善策 ・残された課題・新たな課題への対応策 ・その他 必要な改善策	健康・交流のみちの利用者の増加による利便性や交通安全性を考慮した散策環境の改善	・情報案内板、誘導サイン等の設置 ・ルートの紹介 ・道路安全施設設置	情報案内板を始めとする快適な歩行空間を創出するための整備を行った結果、緑道通行者が増加した。	地域住民だけでなく、来訪者も快適に利用できるよう、情報発信による更なる安全性・利便性の向上を図る。

事後評価シート 添付様式5 - から転記

様式4 - フォローアップにより新たに追加が考えられる今後のまちづくり方策

追加が考えられる今後のまちづくり方策	具体的内容	実施時期	実施にあたっての課題 その他特記事項